

カクテルビタミンで『いつのまにか老化』を徹底ブロック 「大気汚染」「ブルーライト」もバリアするUVベース

ケイスキンバリアUVベース
 SPF30 PA+++ 30g ¥6,000 (税抜)

2017年11月15日 (水) リニューアル新発売

株式会社ドクターケイ（所在地：東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F）は、2015年2月24日より発売しておりました「ケイカクテルVスキンケアベース」を「ケイスキンバリアUVベース」（SPF30 PA+++ 30g / ¥6,000-税抜）として、2017年11月15日（水）にリニューアル新発売いたします。多機能性（美容液、美白ケア、日焼け止め、下地効果）とホイップクリームのようなふわふわなテクスチャーはそのままに、ブルーライトによる光老化の予防、PM2.5や大気汚染などの外的刺激から肌を守るアンチポリレーション効果が加わり、さらに肌トーン補正効果もUPして進化いたしました。容量はこれまでの25gから30gに増量。逆止弁容器を新採用したことで酸化を防ぎ、使い終わるまでフレッシュさが持続します。使い勝手を向上させつつ、毎日のスキンケアに継続して使っていただきたいという想いから価格は据え置きとさせていただきます。2017年で15周年を迎えたドクターケイは、皮膚医療の現場から誕生したスキンケアブランドとして変わらぬ想いをもちながらも、より良い製品を皆さまにお届けしてまいりますので、今後もドクターケイにご期待ください。



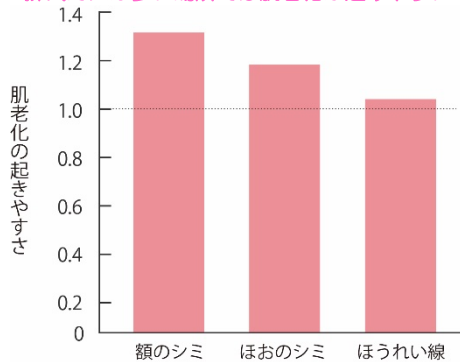
角質細胞より微細な汚染物質が老化を加速させる

米国皮膚科学会では、大気汚染のレベルが高い地域ほど、肌の老化が早いという研究結果が報告されています。PM2.5をはじめとする大気汚染物質は、私たちに健康面だけではなく、美容面でも悪影響を与えているのです。

ニュースなどでよく耳にするようになったPM2.5とは、特定の物質ではなく、粒子サイズを指します。髪の毛の太さの30分の1の大きさ、2.5 μm 以下の大気中の浮遊粒子のことです。

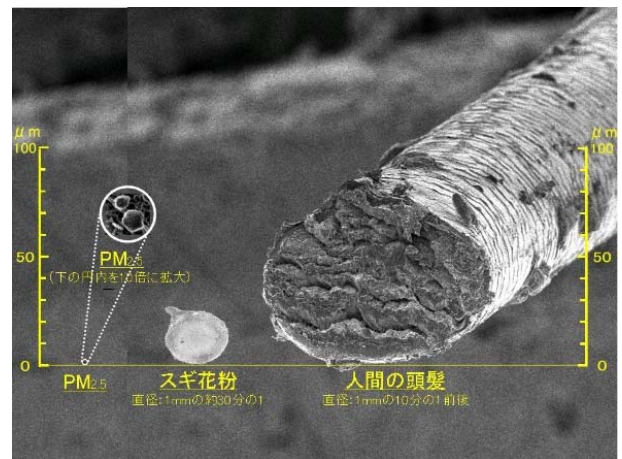
角質細胞の大きさは30 μm 。これより小さなサイズの汚染物質はバリア機能である角質細胞をすり抜け、肌の奥深くまで入り込みます。化学物質である大気汚染物質が肌へ侵入すると、バリア機能やたんぱく質にダメージを与えます。このダメージへの反応で活性酸素が発生し、シミ、シワ、たるみ、色素沈着など老化につながります。

■排気ガスが多い場所では肌老化が進みやすい



(データ: Journal of Investigative Dermatology (2010:130:2719,2726) .)

ドイツのルール地方に住む70~80歳の女性400人を対象に、肌の老化と大気汚染の関係を調べた。1日当たり1万台以上の車が通る幹線道路から100メートル以内のエリアの人は一般の人に比べ、額のシミは35%、ほおのシミは15%、ほうれい線は4%多くできていた

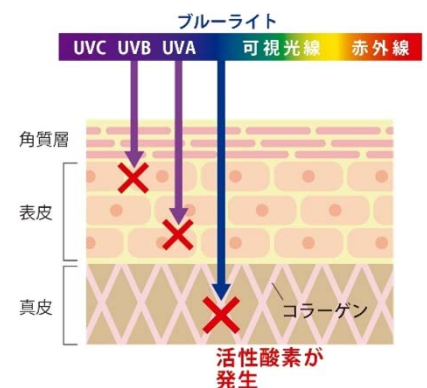


東京都のHPより引用

外出先だけじゃない！日常に潜む光老化の原因

ブルーライトとは、波長が380~500nm（ナノメートル）の青色光のことです。可視光線の中で一番波長が短く、強いエネルギーを持っています。パソコンやスマートフォンなどのLEDディスプレイやLED照明には、このブルーライトが多く含まれています。

波長が違うだけで、紫外線と同じように肌に影響を与えます。紫外線よりも波長が長いので、皮膚のより深い層「真皮」まで到達し、じわじわと色素沈着など光老化を引き起こします。



肌は紫外線以外にも日常的に脅威にさらされている

ケイスキンバリアUVベースは、それぞれの外部刺激から肌を守る新しい成分を配合

新配合の3つの成分

■ カクテルビタミンバリア

アンチポリューション

抗酸化

美白

ドクターケイでは皮膚科専門医の視点から、それぞれのアイテムの機能に合った各種ビタミンを選択、カクテルビタミンを設計しています。ケイスキンバリアUVベースではアンチポリューション（抗大気汚染）効果を高めるために、新たなカクテルビタミン、「カクテルビタミンバリア」を配合しました。美白、抗酸化、ニキビ、毛穴引き締めなど様々な美容効果のある水溶性、油溶性のビタミンC誘導体を3種類、ビタミンCの抗酸化力をより高める作用のあるビタミンEをベースに、ビタミンB5誘導体を配合しています。



ビタミンC誘導体：抗酸化作用、新陳代謝を促す作用、できてしまったメラニンを還元して色素沈着を防ぐ作用、皮脂分泌のコントロール作用、肌をなめらかにする作用などさまざまな美容効果があります。分子が小さくなって浸透しやすくなったタイプのビタミンC誘導体は、真皮でコラーゲンの産生に働きかけることが期待できます。シミ、シワ、肌のたるみなどさまざまなトラブルに効果が期待できる成分です。

ビタミンB5誘導体：ビタミンB5誘導体は、花粉や排気ガス、PM2.5などの汚染物質が肌に付着することによって生じる環境ストレスが引き起こす直接的な表皮細胞へのダメージを緩和します。また、表皮組織に悪影響を与える環境ストレス物質の代謝を抑えると同時に、免疫過剰応答を抑制する複合的なアプローチで、肌トラブルを防ぎます。

ビタミンE：血管を拡張することで血行促進作用があります。また、ビタミンCと同じように優れた抗酸化力があります。ビタミンCと一緒に配合すると、活性酸素を除去し疲れて不活性化したビタミンEをビタミンCが還元することで、抗酸化力が復活、より高い抗酸化力を発揮するという相乗効果を生み出します。

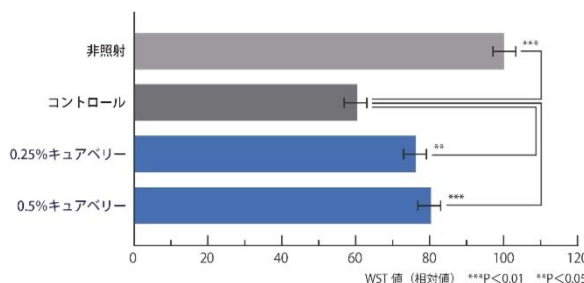
■ キュアベリー(ビルベリー葉エキス)

抗ブルーライト

キュアベリーはツツジ科スノ木属のビルベリーの葉から得られたエキスです。ビルベリーはスカンジナビア半島から北部ヨーロッパの低地、アジアの高山地帯に広く自生しています。葉は古くからハーブティーとして利用されて、民間治療薬としても用いられてきました。



ブルーライトにより線維芽細胞が傷つくのを防ぐ働きがあります。線維芽細胞とはお肌の土台を作る元となる大切な組織です。また、キュアベリーは抗炎症、色素沈着改善、シワ改善の効果と、メラニン産生の抑制効果があるほか、GABA（ストレスケア成分）の産生促進効果、線維芽細胞増殖効果、グルタチオン（活性酸素消去成分）産生効果があり、アンチエイジングと癒し効果が期待出来ます。



キュアベリーのブルーライトからの線維芽細胞保護作用
→バーが長いほど細胞数が多く、細胞増殖機能が維持されているといえます。

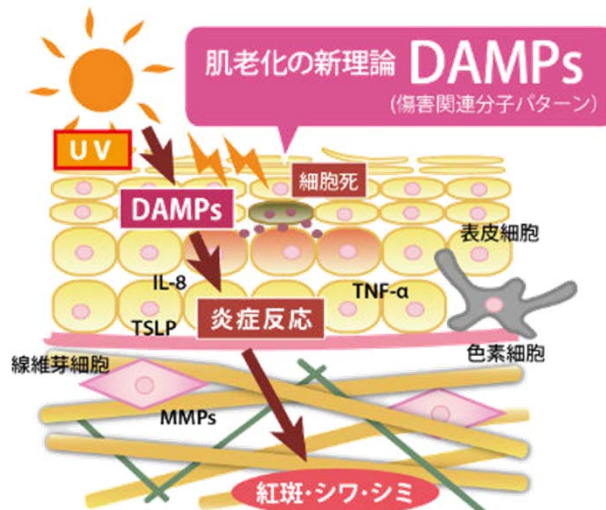
■ イザヨイ(イザヨイバラエキス)

日焼けしにくい肌へ



イザヨイはバラ科バラ属の低灌木、トゲナシの実から得られるエキスです。果実は消化不良や胃弱に用いられてきました。トゲナシは日本ではイザヨイバラとも呼ばれます。花が常に一方だけ欠けていることから、十五夜の満月から少し欠けた月を意味する十六夜（イザヨイ）から名づけられています。

肌は年齢を重ねるごとに、紫外線によるダメージを受けやすくなるのがわかっています。近年の研究で、炎症を引き起こすサイトカインを誘発するDAMPsという物質の存在が明らかになりました。紫外線を浴びたことで炎症を起こし、シミやシワ、たるみなどの老化が始まります。イザヨイはこのDAMPsを抑制し炎症を防ぐことで日焼けをしにくい肌に導く働きがあります。



製品概要

製品名：ケイスキンバリアUVベース（日焼け止め化粧下地）

容 量：30g／価格：¥6,000（税別） 発売日：2017年11月15日

販 路：公式オンラインショップ（<http://www.doctork.jp/>）

取扱店舗情報（<http://www.doctork.jp/shoplist/>）にてご確認ください

美容成分：

- カクテルビタミンバリア【アンチポリューション、抗酸化、美白】
 - ・水溶性ビタミンC誘導体（アスコルビン酸、リン酸アスコルビルMg）
【皮脂分泌の抑制、活性酸素消去、ニキビ、毛穴、色素沈着】
 - ・油溶性ビタミンC誘導体（テトラヘキシルデカン酸アスコルビル）
【活性酸素消去、細胞賦活作用、色素沈着、クレーターなどの改善】
 - ・ビタミンB5誘導体（ジカルボエトキシパントテン酸エチル）【環境ストレスによる皮膚ダメージの緩和】 **NEW**
 - ・ビタミンE（トコフェロール）【活性酸素消去、血管拡張作用】
- キュアベリー（ビルベリー葉エキス）【抗ブルーライト効果】 **NEW**
- リンゴ酸ジイソステアリルエキス【肌の水分蒸散を防ぎ、潤いを保つ、エモリエント効果】 **NEW**
- IZAYOI（イザヨイバラエキス）【炎症性サイトカイン発生にかかわるDAMPsを抑制】 **NEW**
- TYROSTAT-11（ギンギシエキス）【美白、メラニン産生抑制】
- セラミド
 - ・セラミドNP【シワを軽減】
 - ・セラミドAP【ターンオーバーの促進、シワを軽減】
 - ・セラミドNG【保湿、血管の柔軟性を高める】
- コラーゲン
 - ・加水分解コラーゲン【保湿、血管の柔軟性を高める】
- ヒアルロン酸
 - ・ヒアルロン酸Na【保湿、皮膚の柔軟性を高める】
- 植物エキス
 - ・ローズマリー葉エキス【抗酸化作用、殺菌作用】
 - ・ホホバ種子油【保湿】
 - ・テンニンカ果実エキス【紫外線を浴びた肌の炎症を和らげる働きが期待できる】

使用用法：

基礎化粧品でお肌を整えた後、適量（パール粒大）を、顔全体から首にかけて、数箇所のにのせてから、まんべんなくうすくのばします。
化粧下地、または日焼け止めとしてご使用ください。



Dr. Kameyama's message

皮膚は外的刺激から最前線で身体を守る、身体の器官の中でも最も過酷な環境にさらされています。特に現代は紫外線だけでなく、PM2.5を始めとする大気汚染物質、電子機器から出るブルーライトなど外的刺激が増え、皮膚のおかれている状況はより過酷です。僕は紫外線だけではなく、現代特有の外的刺激、PM2.5やブルーライトからも皮膚を守るUV下地を作ろうと思いました。

外的刺激を受けた肌は活性酸素やインターロイキン1といった、炎症を引き起こすサイトカインを放出します。多くの症例から、ニキビをはじめ、皮膚のトラブルの多くは、気づかないほどの微弱な炎症が引き金になっていると気づきました。炎症を徹底的に抑えることで皮膚トラブルを回避できるのです。

今回、炎症を強力に抑える効果がある成分として注目しているイザヨイとキュアベリーを新たに配合しました。クリニックの施術や外用薬にも使っている成分です。炎症を強力に抑えることで、こんなにも皮膚は回復するものなのだと感じています。美白作用、しわの軽減、毛穴の改善の作用も発揮することが分かりました。

新成分はカクテルビタミンバリアと共に配合することで、ニキビ、赤ら顔、大人の毛穴にも効果を発揮します。

そういった悩みをもった方にも使っていただきたい、僕の自信作です。



「ドクターケイ」はビタミンC療法の第一人者である、皮膚科専門医 亀山孝一郎が開発したクリニック美容のスキンケア。2002年6月のスタート以来、美容皮膚科学と化粧品科学が融合した先端スキンケアブランドとして、肌悩みをもつ女性たちの高い支持を獲得してきました。“肌は心を映す鏡”という亀山医師のモットーのもと、肌を美しく整え幸せな人生のサポートをする化粧品の開発を続けています。



皮膚科専門医
医学博士

青山ヒフ科クリニック院長
亀山 孝一郎

1980年 北里大学医学部卒業。その後、北里大学皮膚科に入局。

1986年1月～1989年5月

世界最大の研究所・米国立保健衛生研究所にてメラニンの産生について最新研究に没頭。

1994年 自由が丘クリニック皮膚科部長就任。

1998年 皮膚科専門医、医学博士号取得。北里大学皮膚科講師就任。

1999年 世界に先駆けて「ビタミンCのニキビに対する効果」と題して書いた論文発表。この研究をきっかけに、ビタミンCとニキビ、テカリ、オイリー肌との関係を詳しく分析し、ビタミンC療法の第一人者と呼ばれるようになる。

同年、独立し、青山ヒフ科クリニックを開設。

2002年 オリジナル化粧品ブランド「ドクターケイ」を発表。

皮膚科専門医として30年以上の経験を重ね続け、今も最先端研究に臨みながら肌悩みを抱えて来院された患者様への根本治療に日々尽力している。

本件に関するお問い合わせ先・媒体掲載・ご取材依頼先

株式会社ドクターケイ



〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F

Tel:03-5464-1217 Fax:03-5464-1218

PR担当： 山口 智子

Mail: tyamaguchi@doctork.jp